

令和3年度 日本学校農業クラブ北海道連盟

第73回全道実績発表大会開催要項

1 目的

プロジェクト活動発表は、日ごろのプロジェクト学習の成果を発表し、クラブ員の科学性を高めるとともに、専門的な能力や態度を高めることを目的とする。

また、クラブ活動発表は、単位学校農業クラブ活動を積極的に推進するため、問題解決のための自主的・積極的な態度と能力を養うとともに、クラブ員相互の親睦と連携を深めることを目的とする。

なお、本大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためクラブ員の参加を伴わない形で実施し、事前に各単位クラブで撮影した発表動画・活動記録簿・Zoomを介した質疑応答を審査する大会とする。

2 期 日

2022年2月3日(木)～2022年2月4日(金)

3 会 場

北海道富良野緑峰高等学校

〒076-0037 富良野市西町1番1号 TEL 0167-22-2594 FAX 0167-22-2594

4 主 催

日本学校農業クラブ北海道連盟

5 後 援

北海道教育委員会 北海道農業協同組合中央会 公益財団法人栗林育英学術財団 上川総合振興局
富良野市 富良野市教育委員会 北海道学校農業クラブOB会 富良野緑峰高校農業クラブOB会

6 当番校

北海道富良野緑峰高等学校

7 参加資格

令和3年度日本学校農業クラブ北海道連盟規定による登録クラブ員

8 審査員

総審査長 北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導グループ指導主事

藤 井 隆 史

分野Ⅰ類〔生産・流通・経営〕・クラブ活動発表

審査長 北海道教育庁学校教育局高校教育課キャリア教育指導グループ指導主事

藤 井 隆 史

審査員 北海道上川振興局上川農業改良普及センター所長

鈴 木 康 義

北海道更別農業高等学校長

永 山 鑑 造

北海道倶知安農業高等学校長

近 江 勉

北海道遠別農業高等学校長

織 井 恒

北海道美幌高等学校教諭

野 口 潤

北海道新十津川農業高等学校教諭

保木本 敬 一

分野Ⅱ類〔開発・保全・創造〕・分野Ⅲ類〔ヒューマンサービス〕

審査長	北海道立農業大学校教務課長	後藤卓
審査員	北海道上川振興局上川農業改良普及センター主査(担い手)	田村浩太郎
	北海道大野農業高等学校長	野村博之
	北海道士幌高等学校長	赤穂悦生
	北海道剣淵高等学校長	芳賀雄太
	北海道美唄尚栄高等学校教諭	小泉宏
	北海道深川東高等学校教諭	小名孝雪

9 大会日程

《2月3日(木)》

内容	時間	審査員場所
審査員受付 参加者 Zoom 入室	8:30-9:00 (Zoom入室は8:50分まで)	農業特別専攻科玄関
審査員会議	9:00-9:20	経営分析室
書類審査	9:30-11:30	I類・クラブ…S教室1 II類・III類…S教室2
指導教師会議	10:30-11:00	Zoomにてリモート参加
開会式(リモート)	11:30-12:00	審査員:経営分析室 参加校:Zoomにてリモート参加
発表審査 (動画・質疑応答)	12:50-16:40	I類…S教室1 II類…S教室2 ※質疑応答はリモートにて実施。
審査員会議		I類…S教室1 II類…S教室2

《2月4日(金)》

内容	時間	審査員場所
審査員受付 参加者 Zoom 入室	8:30-9:00 (Zoom入室は8:50分まで)	農業特別専攻科玄関
発表審査 (動画・質疑応答)	9:00-12:00 9:00-12:50	クラブ…S教室1 III類…S教室2 ※質疑応答はリモートにて実施。
審査員会議	13:50-14:20	クラブ…S教室1 III類…S教室2
閉会式(リモート)	14:50-15:30	審査員:経営分析室 参加校:Zoomにてリモート参加

※Zoomへの接続については、「14 リモート参加について」をご参照ください。

10 大会参加申込について

(1) 申込方法

参加申込書(別紙様式1、2)および諸納金一覧表(別紙様式3)に必要事項を記入し、大会事務局まで送付してください。ただし、必要機材や演示等の記載は必要ありません。

併せて次のメールアドレスに参加申込書および諸納金一覧表を送信してください。

申込データは、当番校ホームページよりダウンロードしてください。

当番校HPアドレス <http://www.furanoryokuho.hokkaido-c.ed.jp/>

申込メールアドレス furanoryokuho-z0@hokkaido-c.ed.jp

メールでの提出期限 2022年1月25日(火) 17:00 締切

郵送での提出期限 2022年1月31日(月) 必着

(2) 負担金および参加料

ア 学校負担金 1単位クラブ 3,000円

イ 発表負担金 1発表につき 2,000円

※ 期限までに振込をお願いします。(4)をご参照ください。(振込手数料は各校にて負担願います。)

(3) 審査員の宿泊斡旋について

審査員依頼とともにご案内いたしております。

(4) 振込先

①振込先：北海道銀行 富良野支店

②口座番号：普通口座 0532871

②口座名：北海道富良野緑峰高等学校当番校会計 代表 岩崎 弘之 (いわさきひろゆき)

振込期限：2022年1月26日(水)

11 その他

(1) 前年度優勝校は、本大会結果発表後、優勝カップを速やかに北海道連盟事務局宛に着払いでお送りください。

(2) 大会結果については、閉会式にて発表し、大会終了後当番校ホームページにて速報を掲載します。

(3) 地域大会で入賞し、本大会へ出場する発表は、次の必要物品を本大会事務局に送付してください。

【事前提出物品】

- エントリーシート(紙媒体およびPDFデータ)
- 発表原稿(紙媒体およびPDFデータ)
- 活動記録簿
- 動画データ(USB) …各学校で新品のUSBメモリをご用意いただき、郵送ください。

事前提出物品 郵送での提出期限 2022年1月31日(水) 必着

【エントリーシート・発表原稿(PDFデータ)】

- 事前にPDFデータを当番校にメール送信願います。

PDFデータ メールでの提出期限 2022年1月25日(火)17時00分 必着

※送信先は「13大会事務局」に記載されているメールアドレスへ送信してください。

※その他、提出物の詳細については、別添「全道大会実施基準」をご覧ください。

(4) 発表順位抽選は、Zoomで、1月27日(木)に実施させていただきます。詳細は各参加校宛てに周知させていただきます。また、本校ホームページにも掲載いたします。

(5) 大会当日いかなる場合であっても、審査員、北海道連盟事務局員以外の本校への入校はできませんのでご容赦ください。

(6) 大会に関する問い合わせは、大会事務局にお問い合わせください。

12 新型コロナ感染防止対策(対象は審査員を含む大会当日入校者)

次のとおり新型コロナウイルス感染防止対策にご協力ください。

- (1) 本校に入校される場合は、検温・手指消毒・マスクの着用を遵守してください。
- (2) 入校許可証(首掛け式)の携行をお願いします。
- (3) 次の症状がある場合、または、症状が回復して2日を経過していない場合は入校できません。
 - ア 風邪症状、臭覚、味覚異常、息苦しさ、強いだるさ等の症状がある場合
 - イ 37℃以上の発熱がある場合
 - ウ 普段の体調と違う症状を感じている場合

13 大会事務局

北海道富良野緑峰高等学校 全道実績発表大会事務局

(担当：杉田慎二 中川善嗣)

〒 076-0037 富良野市西町1番1号 TEL 0167-22-2594 FAX 0167-22-2594

メールアドレス furanoryokuho-z0@hokkaido-c.ed.jp

14 リモート参加について

Zoomを介した質疑応答および開閉会式を実施します。Zoom ミーティング ID およびパスコードについては次のとおりです。

Zoomによる入室時間は、次にあたります。各発表動画審査後の質疑応答では、該当する質疑応答者がオンライン上で対応することとします。時程等の詳細は、参加校に別にご案内いたします。

2月3日(木) 8時30分～16時40分

ミーティング ID: 870 5502 4883

パスコード: 126654

2月4日(金) 8時30分～15時30分

ミーティング ID: 842 9685 7480

パスコード: 484297

※参加者全員、両日ともに8時30分～8時50分までの間に入室を済ませてください。

※審査の様子は、Zoomにより視聴できるようにします。

全道大会実施基準(令和3年度)

この「全道大会実施基準」は、日本学校農業クラブ北海道連盟運営細則3の大会等に関する細則のうち、全道実績発表大会により実施・運営について定めたもので「全道大会実施要項」はこの基準に基づいて作成される。

この基準については、令和3年度大会が新型コロナウイルス感染症防止のため、通常開催ができなくなり、事前に単位クラブで撮影した発表動画を提出し審査するスタイルに変更、なおかつ、Zoomによる質疑応答審査を加えた大会形式に変更したために、特例として新たに作成したものである。

1 プロジェクト発表

プロジェクト発表は、日頃のプロジェクト活動の成果を発表し、クラブ員の三大目標を高めるとともに、専門的な能力や態度を高めることを目的とする。

(1) 発表分野と内容

次の全国基準によるが、地域大会の内容を変更してはならない。

分 野	内 容
I 類 生産・流通・経営	1 農業生物の育成や生産性向上に関すること 2 農業生産物の流通や消費に関すること 3 農業の経営や経済活動に関すること
II 類 開発・保全・創造	1 生産物の加工技術や商品に関すること 2 国土や地球環境の流通や消費に関すること
III 類 ヒューマンサービス	1 動植物や地域資源の活用に関すること 2 地域や食文化や伝統文化の継承に関すること

<発表分野と内容の補足説明>

1 発表内容について

発表内容は、農業クラブ員が日ごろの農業関係科目の学習をとおして学んでいるもの、およびそれらを発展・応用したもの、さらにホームプロジェクトで行っている農業学習に関連したものとする。

2 発表分野について

ア どの分野にするかは発表する内容によって判断し、エントリーシートにI類からIII類を選択した理由や必要事項を記入する。研究内容がどの分野になるのか②を確認すること。

イ 発表分野と具体的な内容

分野	内 容	具体的な研究内容(例)
I 類 生産 流通 経営	1 農業生物の育成や生産性向上に関すること 2 農業生産物の流通や消費に関すること 3 農業の経営や経済活動に関すること	・栽培・飼育に関する研究 ・肥料や薬剤に関する研究 ・農業生産物の流通や保全、管理に関する研究 ・農業経済・経営に関する研究
II 類 開発 保全 創造	1 生産物の加工技術や商品に関すること 2 国土や地球環境の保全・創造に関すること	・農業生産物の加工に関する研究 ・食品の栄養に関する研究 ・農業土木や造園、林業の事業の計画 ・実施・管理に関する研究 ・生物多様性の保全に関する研究

Ⅲ類 ヒューマン サービス	1 動植物や地域資源の活用に関する こと 2 地域の食文化や伝統文化の継承 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・農村環境や社会動物等の農業資源の活用と交流活動に関する研究 ・地域農業や地域社会に根ざした事業の振興に関する研究 ・農山村の歴史的行事・郷土芸能 ・伝統食・食文化、食育などに関する研究 ・市民農園・観光農園・農家レストランなどに関する研究
---------------------	---	---

(2) 動画撮影方法

- ① 次の(3)発表方法、(4)発表および準備時間、(5)発表者および発表補助者の要項に従い、動画を撮影すること。
- ② 撮影については発表準備が完了してから、『気をつけ。礼』より撮影を開始し、その後発表を終え、『気をつけ。礼』までの一連の流れを定点で継続して撮影すること。
- ③ 動画に新たな音声を入れるなどの編集はしないこと。
- ④ 詳しい撮影方法は別紙「令和3年度全道実績発表大会動画マニュアル」を参照のこと。

(3) 発表方法

- ① 発表は視聴覚機器を使用した演台からの口頭発表とする。必要に応じ標本・模型などを使用した演示をしても良い。また、視聴覚機器、標本、模型には音声・動画が挿入されていても良い。ただし、音声・動画は補助としてのみ利用すべきである。発表はオリジナルなものを提供することが望ましい。
- ② 撮影に準備する視聴覚機器類およびUSBについては、各単位クラブで準備を行うこと。
- ③ 動画発表終了後、Zoomを介した質疑応答を実施する。

(4) 発表および準備時間

- ① 発表時間は10分以内として超過2分で発表打ち切りとする。
- ② 時間標示は8分(1鈴)、10分(2鈴)、12分(乱鈴)とする。
- ③ 計時および時間標示については撮影時にわかるようにすること。
- ④ 発表準備のための時間は特に設けなくて良い。

(5) 発表者および発表補助者

- ① 発表者は発表分野ごとに、地域連盟で審査の結果、最優秀または優秀に選ばれた者(またはグループ)とする。
- ② 発表者および発表補助者数は合わせて10名以内とする。
- ③ 発表者はいずれの発表分野についても男女・学科を問わない。
- ④ 発表者は口頭発表を行う者とし、3名以内とする。発表補助者は視聴覚器具の操作、標本・模型の演示など、発表の補助を行う者とする。
- ⑤ 各発表とも、補助者は必ず自校にて準備すること。
- ⑥ 全道大会の発表者数は次の通りとする。

発表分野	北連盟	南連盟	東連盟	合計
分野Ⅰ類 生産・流通・経営	4	5	5	14
分野Ⅱ類 開発・保全・創造	4	5	5	14
分野Ⅲ類 ヒューマンサービス	4	5	5	14
合計	12	15	15	42

(6) 審査および審査委員会

- ① 審査は各発表分野ごとにプレイスナンバー方式で行い、最優秀、優秀を選出する。
- ② 審査員は、校長・教頭・指導教師・学校農業クラブに理解の深い学識経験者などから選出する。
その構成は、道連運営細則3により次のとおりとする。
- ③ 審査委員会の構成は日本学校農業クラブ北海道連盟が、北海道高等学校長協会農業部会、各地域連盟、当番校と協議のうえ原案を作成し、代議員会で決定する。
- ④ 審査委員会は発表に対する指導講評を行う。
- ⑤ 審査プレイスナンバーの公開については、審査長の確認を受けて、全発表分について行い、指導の一助とする。

(7) 表彰および全国大会推薦

- ① 入賞者に対して表彰を行う。入賞数を次のとおりとする。

発表分野	最優秀	優秀	合計
分野Ⅰ類 生産・流通・経営	1	5	6
分野Ⅱ類 開発・保全・創造	1	5	6
分野Ⅲ類 ヒューマンサービス	1	5	6
合計	3	15	18

- ② 全国大会への出場のあり方については、最優秀の学校が翌年度の全国大会出場を優先して受けることができる。ただし、次の条件が満たされない時は推薦資格を失い、優秀の1席から順次条件を満たす学校を推薦する。
 - ア 学習体系として縦（1・2・3年）の関係がはっきりしていること。
 - イ 学習体系として記録簿等でその該当生徒（1・2年）が学習していることが明確であること。（発表者及び発表補助者に2年生以下の生徒が含まれること）
 - ウ 地域大会より発表者および補助者として携わってきていること。
 - エ いかなる理由にせよ、途中より3年生から2・1年生への変更は認められない。

(8) 事前資料提出

審査のための資料として、エントリーシート、プロジェクト活動記録簿および発表原稿を下記要領でまとめて提出する。ただし、エントリーシートおよび発表原稿は、エントリーシート・表紙・原稿の順番に綴じて提出ください。

①エントリーシート40部

- ア 様式は、令和3年度全国大会実施基準に準ずる。
- イ 紙媒体とPDFデータで提出する。

②活動記録簿1冊

- ア 活動記録簿、記録写真等、発表に直接関係ある資料を、A4判ファイル1冊に整理したもので、厚さは10cm程度とする。
- イ 表紙の様式は、令和3年度全国大会実施基準に準ずる。

③発表原稿40部

- ア 図表、写真等、発表に使用する内容を示すものを含めたもの。
- イ 用紙はA4判とし、横書き、片面印刷とする。
- ウ 表紙の様式は、令和3年度全国大会実施基準に準ずる。
※表紙に装飾や写真を使用しない。
- エ 紙媒体とPDFデータで提出する。

④動画（USB）1本

- ア (2) 動画撮影方法及び動画撮影要項に従い、撮影したものをUSBに保存する。
- イ あらかじめ、複数のパソコンで再生できるかを確認すること。
- ウ 各単位クラブデータを1つにまとめて提出してよい。
- エ USBは各単位クラブで発表動画をまとめて1本にする。ただし、発表数が多い場合は複数可。

(8) 審査基準と配点 (80点満点)

項目	事前資料 (Profile)		発表 (Project Publication)						
審査	発表原稿と活動記録簿		発表内容 (Contents)		発表方法 (Presentation)				
配点	25点		45点		10点				
審査項目	1	発表原稿は誤字脱字なく、書かれているか	5点	1	エントリーシートの内容を踏まえた構成であるか	10点	1	発表に関する準備や機器の活用は適切であったか	
	2	活動記録簿は研究期間 (Period) の記録であり、計画 (Plan) にしたかった継続的な研究であるか	5点	2	授業での学習を踏まえ計画的に研究が進められているか	10点	2	発表方法や態度は適切であり、分かりやすいものであったか (発表中の特殊なパフォーマンスを評価するものではない)	
	3	適切な研究方法 (Do) で、正確な実践記録 (Check) がなされているか	5点	3	持続的・安定的な地域環境や地域創造に配慮した内容となっているか	10点			
	4	信頼性、再現性のあるデータとなっているか (Data)	5点	4	発表内容は精選され、成果は論理的・客観的に検討されているか	15点	3		審査員からの質疑に対して、適切な応答ができているか
	5	掲載されている資料は内容が精選され、適切な内容となっているか (Volume)	5点						

※ 発表方法 (Presentation) の1・2については動画での審査なので審査しない。

(10) ペナルティー

① 発表時間による減点

ア

超過時間	30秒まで	30秒超過～ 60秒まで	60秒超過～ 90秒まで	90秒超過～ 120秒まで	120秒を超過し、
減点数	2点	4点	6点	8点	10点

イ 時間計測は表現開始より、表現終了までとする。発表者の第一声、演示の開始のうち早いものを表現開始とし、「・・・・・・終わります。」の声で表現終了とする。

(平成23年2月15日付け農ク道連第30号申し合わせ事項参照)

2 クラブ活動発表（道連独自基準）

クラブ活動発表は次の要領で行い、各地域連において選出されたクラブ員が発表する。ただし、地域大会の内容を変更してはならない。

(1) 課題

単位学校農業クラブ活動を積極的に進展するために、単位クラブはどのように取り組み、クラブ員がどのように活動しているか

(2) 動画撮影方法

- ① 次の(3)発表方法、(4)発表および準備時間、(5)発表者および発表補助者の要項に従い、動画を撮影すること。
- ② 撮影については発表準備が完了してから、『気をつけ。礼』より撮影を開始し、その後発表を終え、『気をつけ。礼』までの一連の流れを定点で継続して撮影すること。
- ③ 動画に新たな音声を入れるなどの編集はしないこと。
- ④ 詳しい撮影方法は別途指示を出す。

(3) 発表方法

- ① 発表は視聴覚機器を使用した演台からの口頭発表とする。必要に応じ標本・模型などを使用した演示をしても良い。また、視聴覚機器、標本、模型には音声・動画が挿入されていても良い。ただし、音声・動画は補助としてのみ利用すべきである。発表はオリジナルなものを提供することが望ましい。
- ② 撮影に準備する視聴覚機器類・USBについては、各単位クラブで準備を行うこと。
- ③ 発表終了後の質疑応答は行わない。

(4) 発表および準備時間

- ① 発表時間は10分以内として超過2分で発表打ち切りとする。
- ② 時間標示は8分（1鈴）、10分（2鈴）、12分（乱鈴）とする。
- ③ 計時および時間標示については撮影時にわかるようにすること。
- ④ 発表準備のための時間は特に設けなくて良い。

(5) 発表者および発表補助者

- ① 発表者は、地域連盟で審査の結果、最優秀または優秀に選ばれた者（またはグループ）とする。
- ② 発表者および発表補助者数は合わせて10名以内とする。
- ③ 発表者は男女・学科を問わない。
- ④ 発表者は口頭発表を行う者とし、3名以内とする。発表補助者は視聴覚器具の操作、標本・模型の演示など、発表の補助を行う者とする。
- ⑤ 各発表とも、補助者は必ず自校にて準備すること。
- ⑥ 全道大会の発表者数は次の通りとする。

	北連盟	南連盟	東連盟	合計
クラブ活動発表	3	4	4	11

(6) 審査および審査委員会

- ① 審査はプレイスナンバー方式で行い、最優秀、優秀を選出する。
- ② 審査員は、校長・教頭・指導教師・学校農業クラブに理解の深い学識経験者などから選出する。その構成は、道連運営細則3により次のとおりとする。
ア 外部審査員 2名
イ 内部審査員 5名
ただし、プロジェクト発表と兼ねることができるものとする。
- ③ 審査員会の構成は日本学校農業クラブ北海道連盟、北海道高等学校長協会農業部会、各地域連盟と協議のうえ当番学校が原案を作成し、代議員会で決定する。
- ④ 審査プレイスナンバーの公開については、審査長の確認を受けて、全発表分について行い、指導の一助とする。

(7) 表彰および全国大会推薦

① 入賞者に対して表彰を行う。入賞数を次のとおりとする。

	最優秀	優 秀	合 計
クラブ活動発表	1	3	4

② 最優秀校は翌年度の全国大会クラブ員代表者会議、ブロック代表事例発表校となる。なお、発表者の学年制限はない。

(8) 事前資料提出

審査のための資料として、活動記録簿および発表原稿をプロジェクト発表と同じ要領でまとめて提出する。ただし、発表原稿は、表紙・原稿の順番に綴じて提出ください。

① 活動記録簿 1冊

活動記録簿、記録写真等、発表に直接関係のある資料を、A4判ファイル1冊に整理したもので、厚さは10cm程度とする。

② 発表原稿 40部

ア 図表、写真等、発表に使用する内容を示すものを含めたもの。

イ 用紙はA4とし、横書き、片面印刷とする。表紙の形式はプロジェクト発表に準ずる。

③ 提出期限

事前提出書類のデータについてはPDFデータに変換して提出ください。

④ 動画 (USB) 1本

ア (2) 動画撮影方法及び動画撮影要項に従い、撮影したものをUSBに保存する。

イ あらかじめ、複数のパソコンで再生できるかを確認すること。

ウ 各単位クラブデータを1つにまとめて提出してよい。

エ USBは各単位クラブで発表動画をまとめて1本にする。ただし、発表数が多い場合は複数可。

(9) 審査基準と配点

項目	事前資料		発表の内容			
配点	20点		60点			
審査項目	1	組織的系統的に実践・活動が推進されているか	10点	1	課題解決に適切な企画(組織や計画)であるか	15点
				2	課題解決のために役員の活動はどうであったか	15点
	2	データの集積・分析が総合的な判断で行われているか	10点	3	課題解決のためにクラブ員の活動はどうであったか	15点
				4	成果の判断は論理的で、総合的に行われているか	15点

※ 発表のしかたについては動画での審査なので審査しない。

(10) ペナルティー

① 発表時間による減点

ア

超過時間	30秒まで	30秒超過～ 60秒まで	60秒超過～ 90秒まで	90秒超過～ 120秒まで	120秒を超過し、
減点数	2点	4点	6点	8点	10点

イ 時間計測は表現開始より、表現終了までとする。発表者の第一声、演示の開始のうち早いものを表現開始とし、「……終わります。」の声で表現終了とする。

(平成23年2月15日付け農ク道連第30号申し合わせ事項参照)